



U-12 FOOTBALL
未来へ駆け抜けろ！

環

境に恵まれているとは言えない。練習は火・木・土・日曜日、2時間ほどであるが、SC豊田東(総称・SC豊田)は小中一貫指導のためカテゴリーが多く練習場所の確保が難しい。取材当日は天然芝が綺麗に整備されている運動広場での練習であったが、この場所での練習ができる日は少なく、U-12クラスは主に近隣の小学校や中学校のグラウンドを借りて練習をしている。指導者も会社員やOBといったメンバがボランティアで指導をしているため、平日は山本監督が一人で指導することも多いという。



SC TOYOTA HIGASHI

SC TOYOTA HIGASHI

あるからだ。選手の起用に関しても、県トレセン(※)に選出されたこともある身体能力の高い選手を「勝ちにいこうと思えば川畑一翔をフォワード(最も攻撃的なポジション)に置けばいいのですが、中学・高校に向けて小学生のうちには様々なポジションを経験させたい」と、攻守ともに関わるフィールドの真ん中に位置するポジションに置いている。

「しっかりと守って、そこからの速攻を観てほしい」と今大会への意気込みを話してくれた山本監督の温かい表情は、のびのびとプレーする子どもたちの象徴であった。

※トレセンとは「日本サッカーの強化・発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、良い環境、良い指導を受けることを目的に始まった制度」(ナショナルトレーニングセンター制度)の略。

SC豊田東

すべては子どもたちの未来を明るくするため

「見て・判断して・実行して」を日々の練習テーマとし、基本練習の反復に力を注いでいると話してくれたのは指導歴20年の山本正二監督。基本重視の指導は、子どもたちの将来を大切にすることをベテラン指導者の強い想いのあらわれでもあった。



SC TOYOTA HIGASHI



SC TOYOTA HIGASHI

「理想は良いサッカーをして勝てることだが、一番良いですけれど、勝つことよりもまずはチャレンジすること、球を繋ぐことを大切に」と考える山本監督。実践的な練習よりも基本を重視した練習に励む背景には、中学・高校にステップアップしたとき満足いくプレーや高いレベルのプレーができるようにという想いが